
2015年10月7日／12月2日
大学図書館職員短期研修
「大学図書館職員のスキルアップ法」

つながろう、気付こう、
そして一歩踏み出そう！



関西学院大学 神戸三田キャンパス
図書メディア館 課長補佐 井上 昌彦

【本発表内容は私見です】

自己紹介 ①

- 197×年、みかんの国松山市生まれ
- 図書館情報大学 →
大阪市立大学大学院 創造都市研究科
(都市情報学専攻) 前期課程
- 大学図書館 (分類・分室新設) →
知財本部 → 短期大学図書館 → 現職

自己紹介 ②

□ 空手家図書館員

□ マイ・ミッションは、「情報のチカラで、世界をもっと幸せにする！」。

- 大学図書館問題研究会 兵庫支部長 + 全国委員
- 図書館サービス計画研究所 幹事長 + 運営委員
- 図書館総合展運営協力委員
- レファレンス協同データベース事業 企画協力員
- エル・ライブラリー広報大臣
- 関西ライブラリアンおもてなし隊隊長
- 震災訓練プログラムsaveMLAKメソッドファシリテーター
- Code4Lib JAPAN、マイニング探検会、日本出版学会、日本図書館研究会、Lifo、MULU
- ブログ「空手家図書館員の奮戦記」管理人



自己紹介（おまけ）



自己紹介（過去1年間の登壇等）

- 2014.10 国立情報学研究所 大学図書館職員短期研修（西日本会場）講師
- 2014.11 同研修（東日本会場）講師
- 2014.11 愛知図書館協会 ソーシャルメディア研修会 講師
- 2015.12 『未来の図書館、はじめませんか？』刊行記念& 書肆スウィートヒアアフター開店記念トークショー インタビュアー
- 2014.12 学内ラーコモイイベント 発表
- 2015.2 「世界の童話図書館からこれからの図書館を考える会」 パネリスト
- 2015.3 京都情報図書館学習会 講師
- 2015.4 エル・ライブラリー「本と人とまちの未来」 コーディネーター
- 2015.4 FMかしま「Dr.ルイスの“本”のひととき」 ゲストスピーカー
- 2015.5 大学院生自主勉強会 講師
- 2015.8 北海道有志図書館員勉強会 講師
- 2015.8 大学図書館問題研究会 全国大会 利用者支援分科会 話題提供
- 2015.9 某社 社内研修 講師

質問

- 大学図書館員に必要なスキルって？
- スキルアップって？

本日のスタンス

- どんなスキルが必要か、そのためにどうすればいいのか？ どう活かすか？
→ あなた自身が考えること！
- 学習方法論 < ライブラリアン・マインド
- 誰でも、できる。もちろん、あなたにも！

結論

つながろう、気付こう、
そして一歩踏み出そう！

本日の内容

1. はじめに
2. 学びの心技体
3. つながり、そして成長
4. まとめにかえて

1. はじめに

学びとは

- 「行動主義では学習を『行動が変わること』と定義する」、「外部から観察可能な行動上の変化があることを学習と呼ぶ」。(今井むつみ、野島久雄編著「人が学ぶということ」2003, 北樹出版)
- 自身の行動 → 利用者の行動

新しい大学図書館員像（1）

大学図書館における急速な電子化の進展に伴う変化と技術の進歩を背景として、図書館職員は、これまで持っていた知識と見識のみでは対応できない状況が生じている。

したがって、こうした状況変化に適切に対応するために、大学図書館機能を効果的に発揮できる環境整備を図るとともに、図書館職員に求められる新たな知識と見識について検討する必要がある。

「大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあって求められる大学図書館像－」

（科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会, 2010年） [アンダーライン・改行は筆者]

新しい大学図書館員像（2）

一方、新しい業務としては、学習、教育、研究支援を担う専門家として、1. カリキュラムと直結した資料整備、2. 情報リテラシー教育への直接的関与、3. 研究に直結するレファレンス、4. 大学の研究成果の集積と発信、5. 学生・教員の間（研究者間）の学問的交流の場を大学図書館として提供するラーニング・コモンズの運用などが挙げられる。

（前掲「大学図書館の整備について」）

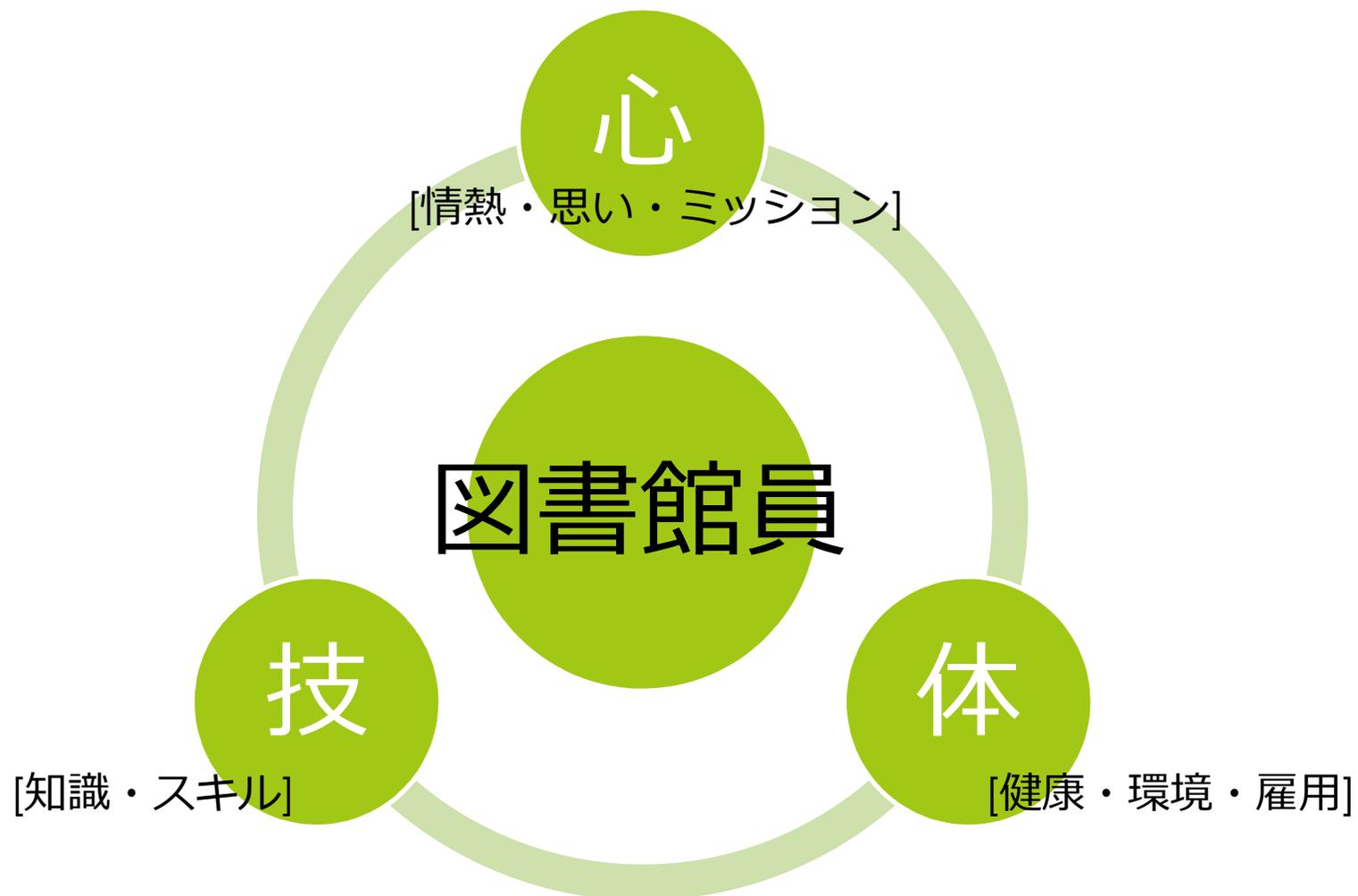
新しい大学図書館員像 (3)

大学図書館における状況の変化に対応し、大学図書館が重要な学術情報基盤としての機能を効果的に発揮していくためには、図書館職員のうち、中核となる者については、今後、伝統的な業務の充実を図るだけでなく、学術情報を駆使して学習、教育、研究により積極的に関与する専門家としてその必要性を学内にアピールし、従来の事務職員とは異なる職種と位置付け、大学内の様々な情報管理業務に関与していくべきである。

(前掲「大学図書館の整備について」)

2. 学びの心技体

心技体のイメージ



体

- 雇用形態・待遇
- 職場の雰囲気・仲間
- 健康

技：スキルアップの標準コース①

- 職場研修・OJT
- 加盟団体等の研修
- 大学本体に関する知識

標準コース ②

- 文献
- Web上の情報
- 政策文書

よくばりコース

- メーリングリスト、オンライングループ
- 研究会
- ONE PIECE ?

王様コース

- 人事異動
- 運営・主催
- 執筆・講演

心：ライブラリアン・マインド

- （繰り返すけれど） ONE PIECE ?
- 仲間とつながる
- 仲間から学び、一緒に成長する

3. つながり、そして成長

つながりって？

知人との
情報交換

友人との
本音の
語り合い

仲間と
未来を
考えること

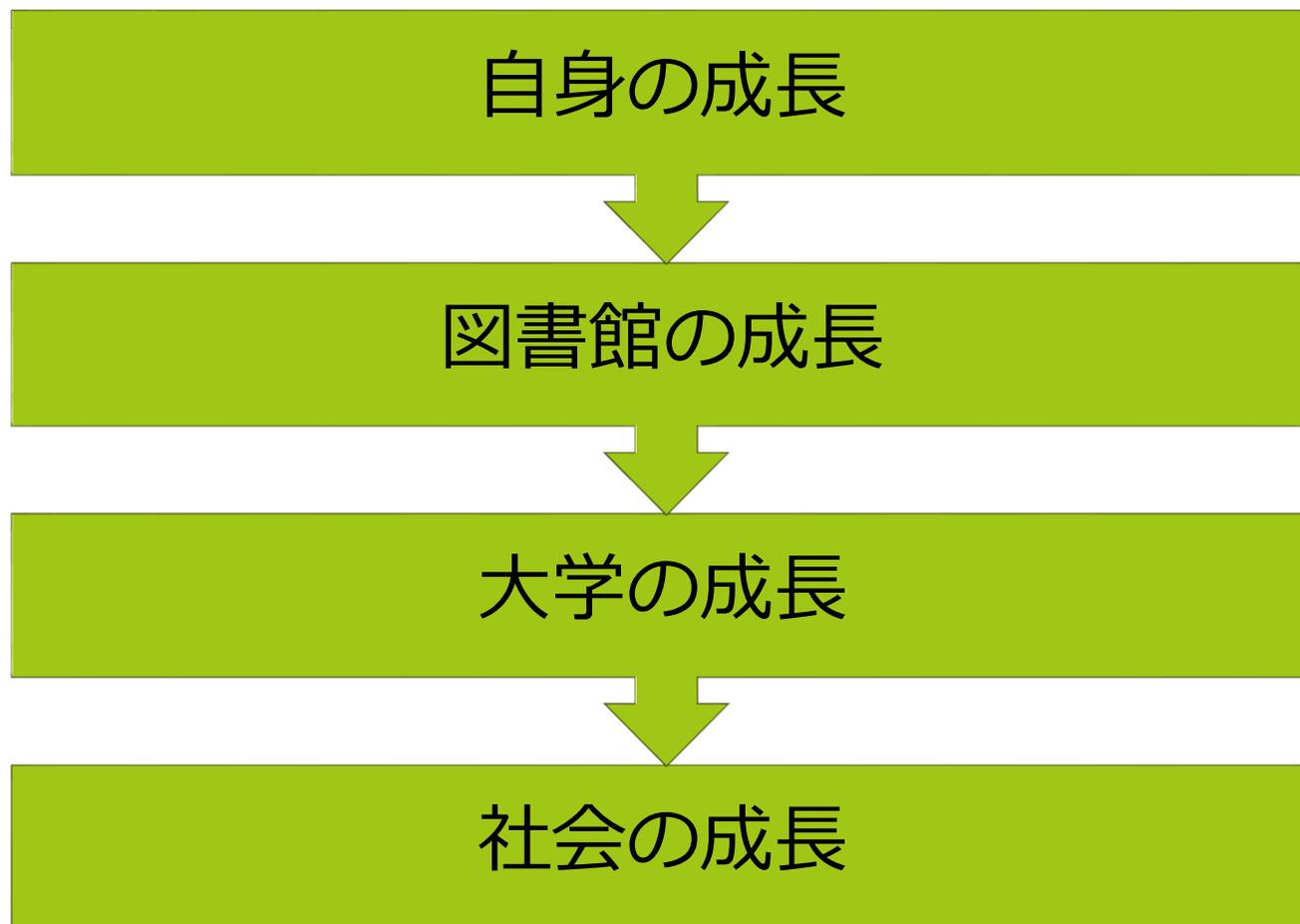
つながり、成長する

高い目線を知る

自分で気づく、考える

一歩だけ、前へ出る

自分の成長は、社会の成長



つながりマインドを持つことは

つながることは、誰にでもできること
(もちろん、あなたにも！)

つながって、みんなで成長しよう！

(もう一度) 結論

つながろう、気付こう、
そして一歩踏み出そう！

まず取り組みたいこと

- 1) 名刺
- 2) ソーシャル・メディア
- 3) 勉強会・研究会
- 4) マイ・ミッション

(1) 名刺

- 公的名刺
- マイ名刺
- おまけ

(2) ソーシャル・メディア

- 基本は、Twitter + Facebook
- おすすめは、ブログ
- 共感を呼び、人間関係を補完するメディア

(3) 勉強会・研究会



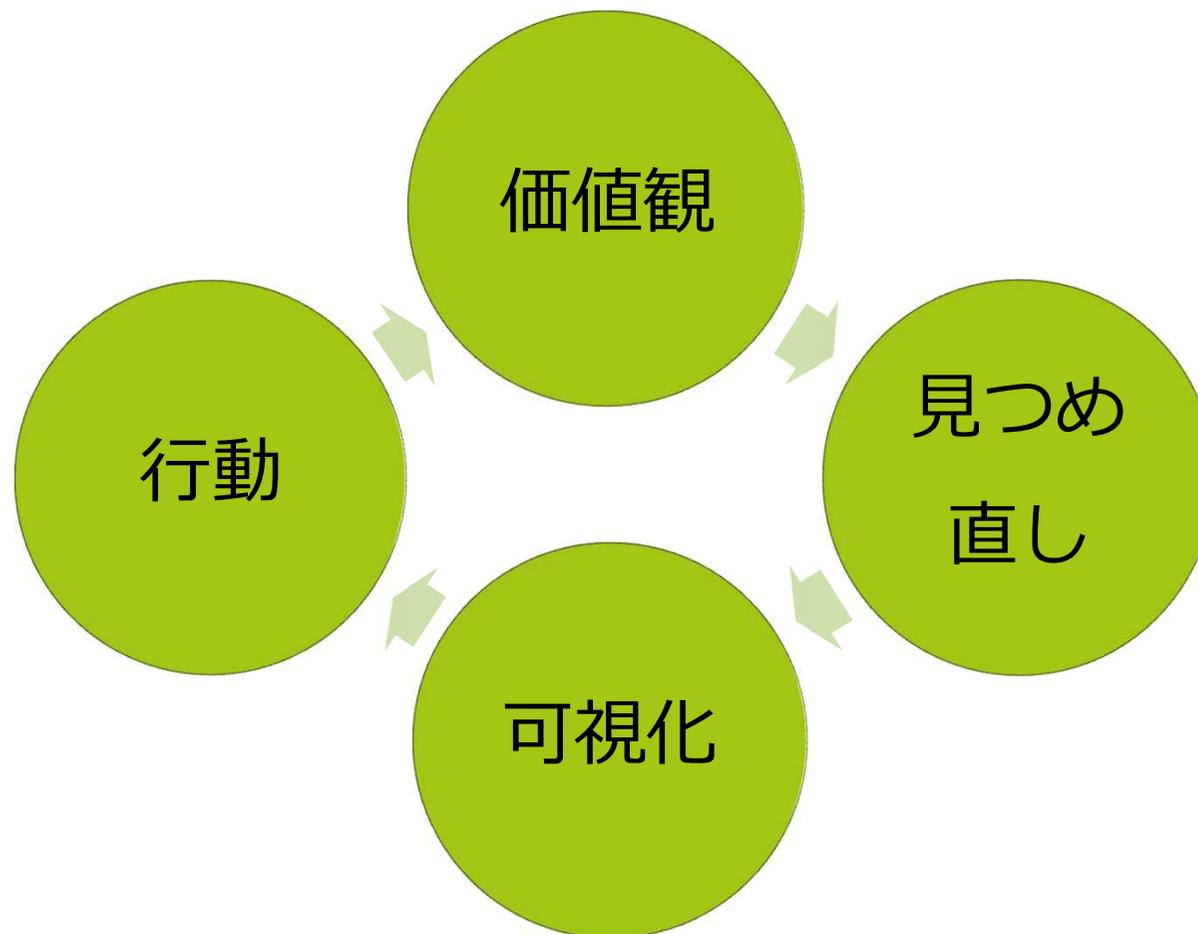
勉強会参加のためのTips (1)

- 講師はどんな人？
- 裏方手伝いも
- 前に、前に！
- 休憩時間にお茶を飲まない！
- 「後で」じゃなく、最初にその手を

勉強会参加のためのTips (2)

- 終電
- 96.2%の人からメールを頂くワザ
- とにかく何か書いてみる

(4) マイ・ミッション



マイ・ミッションの例

【ミッション】 情報のチカラで、
世界をもっと幸せにする！

【行動指針】

- 図書館とWebを世界の二大情報源と位置づけ、そのスペシャリストであるライブラリアンも含めて、そのチカラと魅力を世界に伝える。
- 情報に携わる人と人とを、とりわけライブラリアン同士をつなげる。
- やるからには自身のプレゼンスも向上させ、一目置かれるライブラリアンになる。

広がる、つながり

- 1,500～2,000人？
- 技能・知識・経験なし。
情熱と積極性だけで勝負
- それは、つまり・・・



素晴らしい実践例



4. まとめにかえて

専門職としてのライブラリアン

- 勝ち取れなかった評価
- 情報環境の変化、相対的地盤沈下
- 求められる専門的知識・スキルの変化

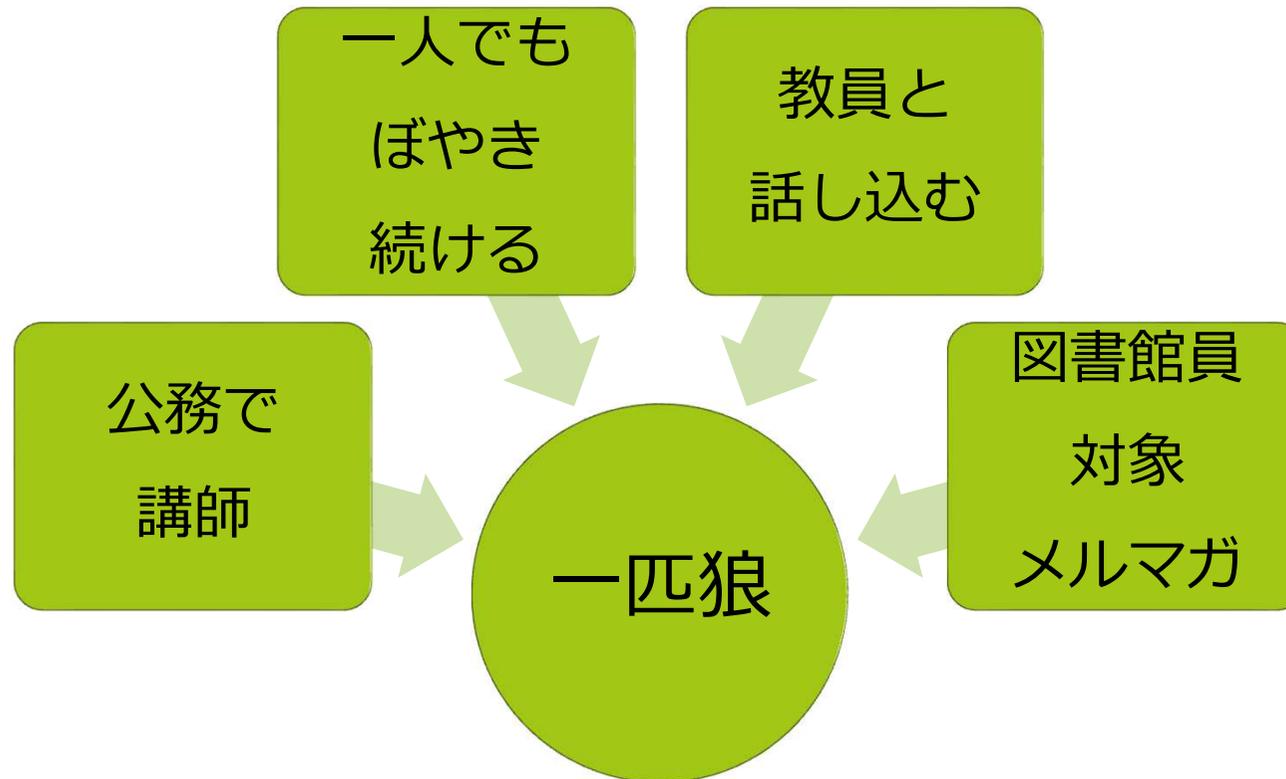
これからのライブラリアン

- 新しい価値観、新しいビジョン
- どうせやるなら、仲間と前向きに！
- 伝わるコトバ

伝わるコトバ

- 価値 × 伝わるコトバ = 人に訴えるチカラ
- 情熱 × 伝わるコトバ = 人を動かすチカラ
- 信念 × 伝わるコトバ = 人を変えるチカラ

最初は出過ぎる杭でもいい



成長のロジック

- 6勝4敗 > 0勝0敗
- やってみる、ダメならスパッと
- 1.01^{365} or 0.99^{365}

学んだことを現場に

- 気づいたこと、考えたことをどう活かす？
- 目的は、つながりじゃない
- あなたの成長と魅力は・・・

まずは自分のチームを

- 同僚を仲間に
- 「おはようございます！（ニコッ）」
- 「委託さん」、「派遣さん」、「業者さん」

努力のモチベーション

自
分
の
原
動
力

「ありがとうございます！」

社会に種を蒔く

仲間の存在、輪の広がり

最後にもう一度

つながろう、気付こう、
そして一歩踏み出そう！

